

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

由加往来の道しるべ

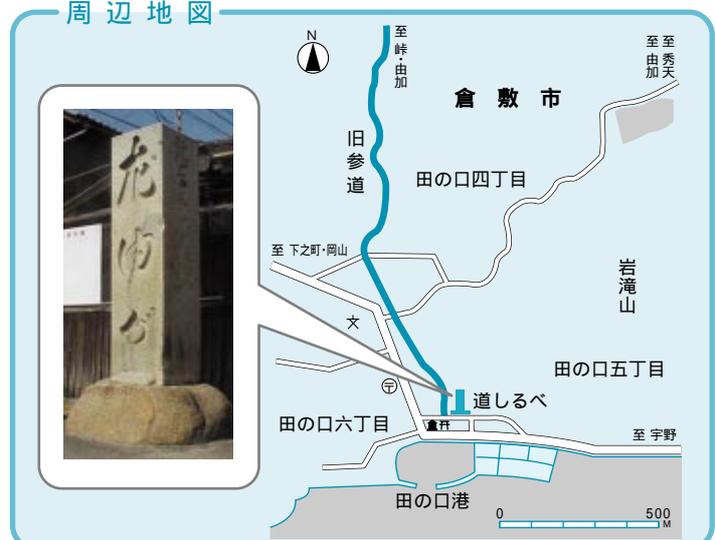


瑜加山へ参詣する主な道として、林からの北往来、田の口港からの南往来、小川からの西往来、日比からの東往来の四つのルートがある。そのひとつである田の口港から参詣する南往来は金毘羅信仰がさかんになった江戸中期、金毘羅神宮との両参りのため、多くの人々が訪れた。

田の口港の船着場正面に高さ6mの大鳥居と備前焼の狛犬が立っている。この鳥居を抜け、北へ進むと十字路に「左ゆが」と優雅な文字で大きく書かれた高さ約1.8mの道しるべがある。道しるべの東面に「右ゆが山」、南面に「弘化三丙午九月 世話人吉浜屋庄右衛門 当所浜田屋九右衛門」、西面に「左ゆが」、北面に「施主 阿州小松島 生島馬之助 同伊之助」と刻まれている。

この道しるべから北へ向かうと三十六丁の丁石があり、由加に達する旧参道に続いている。

周辺地図



自動車文庫・10/48回顧

真備町立図書館長 村上 喬一

岡山県総合文化センターの自動車文庫事業が、平成12年3月をもって、その48年間にわたる歴史の幕を閉じた、と聞いた。本来なら、自動車文庫の終焉と私の定年とが、期せずして重なる筈であったのが、思うところがあって1年早く退職したため、その最期を見届けることもできず、ちょっぴり淋しい思いをしている。

私と自動車文庫との関わりは、大学を卒業して、岡山県総合文化センターに就職をし、西も東も定かでない初めての地岡山を、まずは知ることから始めたいと、自動車文庫の係（当時の館外奉仕係）への配属を申し出た時に始まる。昭和39年であった。

それから足掛け7年間、文字通り東奔西走し、その後部署が変わり、再び館外奉仕係に戻ったのが昭和51年、今度は3年間の勤務であった。

通算して10年間で、自動車文庫と関わりをもった期間であり、標題の所以である。

最初の7年間は、図1、2を見ると、駐車場数、貸し出し冊数とも、ピークからボトムへ急落した時期にあたっている。

今になって振り返って見ると、社会の動きに流されていた当時には実感として分らなかったものが、はっきりと見えてくるものである。

例えば、昭和40年代の初めには、郡部や県北の駐車場（役場や公民館など、自動車文庫が駐車して、いわゆる店を開く所）に行くと、大勢の人達が図書館車の来るのを待っていてくれたし、泥の付いた地下足袋や長靴で、田圃や畑からそのまま駆けつけたという人達も多かったのである。自動車文庫は大もてであった。

私が入ったころは、たしか駐車場の数は90数か所で、2台の図書館車で、3泊4日、1泊2日、日帰り、のコースを組み合わせて巡回していた。先輩たちに言わせると、昭和30年代前半には、120もの駐車場があったということで、減少傾向の歯止め対策に、頭を悩ませていた。2年ほど経験しているうちに、その傾向は、私

にも肌で感じられるようになった。

最初は働き盛りの男性が、次いで家庭の主婦と言われる人達の姿が、目に見えて少なくなり、図書館車を迎えてくれる顔触れは、高齢者が目立つようになった。

日本の国は、高度経済成長に向けて、歩み始めていた。いや、走り始めていたのであった。

巡回していて気づいたことだが、こんな山奥になんで、と思われるような所に、次々と小さな工場が造られていった。駐車場から消えていった人達は、こうした工場に吸収されていたのである。この頃から、夜の田圃でヘッドライトを点けた耕耘機を、あちこちで見かけるようになった。過疎化とか過疎地域という言葉が、盛んに使われた。

働きに出ること（賃稼ぎに行くこと）が社会正義であり、のんびりと読書などしていると、白い目でみられると、1人の主婦がこぼしていた。

結果的に、昼間の人の居ない時間に自動車文庫が巡回して行くということになってしまったのである。

もちろん、ただ憂いでいただけではなく、紙幅の制約で詳述できないが、「へき地児童巡回文庫」の創設を初め、より積載冊数の多い大型の図書館車に更新したり、各駐車場の担当者を対象に、研究会や講習会を開いたりした努力が報われたのか、昭和46年頃から、駐車場数、貸し出し冊数とも増加傾向になり、昭和56年頃にふたたびピークをむかえることになったのである。

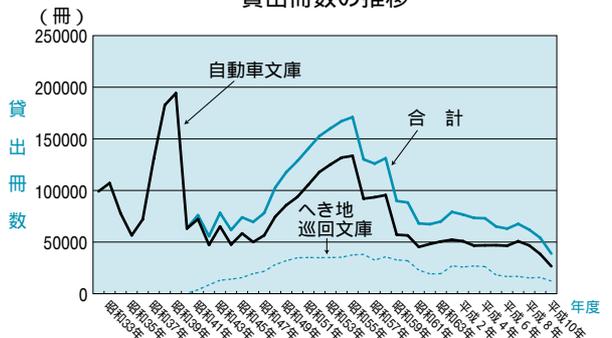
自動車文庫の駐車場が発展して、立派な図書館を造った自治体もある。ここ数年の県内図書館の発展には、目を見張るものがあるが、その陰で、岡山県総合文化センターの自動車文庫が果たした役割を、忘れてはならないであろう。

一つの時代が終わったということは、次の時代が始まるということでもある。新しい県立図書館に、大きな期待を寄せるものである。

(図1) 自動車文庫駐車場・へき地児童巡回文庫指定数の推移



(図2) 貸出冊数の推移



おがやま人物往来 ⑥2

伊木長門守忠貞

伊木忠貞は慶長17年（1612年）に姫路で生まれた。元和2年（1616年）父忠繁の死によりわずか5歳で家督を相続し、元和3年、池田幸隆（後に光政）が姫路から鳥取へ国替になった際には倉吉城を預かった。

倉吉に入った忠貞は天神川、小鴨川の堤の改修を行い、今なお長門土手と呼ばれる土手が残っている。寛永9年（1632年）池田光政が備前へ国替となり、邑久郡虫明陣屋を守備した。伊木忠貞は伊木氏三代目当主であるが伊木氏の岡山藩家老としては最初の人物である。

伊木氏の初代は伊木忠次である。伊木忠次は香川長兵衛（または清兵衛）と称した。織田信長に仕え、美濃伊木山城を落とす際に活躍したので信長から伊木氏を名乗るように言われ、香川氏から伊木氏に改めた。伊木忠次は、池田信輝の家臣ではなく、織田信長の家臣であったが、信長の許しを得て池田信輝が伊木忠次を配下に組み込んだのである。

伊木忠次は豊臣秀吉、徳川家康から陣羽織などを賜っており、池田信輝が小牧、長久手の戦いで戦死した後の池田家において重要な役割を果たした。伊木氏が池田家において家老の地位を占めることになったのは、元来織田信長の家臣であることだけではなく伊木忠次の働きによるものだと考えられる。

伊木忠貞は伊木氏の家督を継ぎ、姫路から鳥取へ、鳥取から岡山へという二度の国替を経験し、池田光政を筆頭家老として支えていったのである。忠貞については様々な逸話があるがこ

こで二つの話を紹介する。

『主君の警衛のために江戸へ向かった忠貞が箱根の関所にさしかかると西国大名の人数は通行止めという布令が、慶安の変に関連して出されていた。忠貞は「将軍に対して二心ある者にあらず。お疑いなら帰りまで、この腕をお預かり下され」と詰めよったので番人どもが恐れをなし門をひらいた。ところがこれに便乗した者が「伊木長門（忠貞）の家中」と偽称して関所を越える者数知れずだったという。』¹ 『忠貞は江戸からの帰国途上、川崎宿で急死するが、その死因について将軍からの使者が追いかけてきて茶会に招待され、覚悟を決めて茶会に臨み毒殺されたという。』²

地元では千力様とも呼ばれている伊木忠貞については次のような参考文献がある。

『伊木氏表忠録』¹（池上淳之編）『邑久町史』²（邑久町役場）『備前藩筆頭家老伊木氏と虫明』（邑久町郷土史クラブ編）『岡山藩政史の研究』（谷口澄夫著）



伊木長門守忠貞の墓（邑久郡邑久町虫明円通山）

うち当館の参考図書 ①16

足の事典（山崎信寿編 朝倉書店発行 1999）

本書は人の足について、その構造、寸法と形態、生理、歩行、動態などの多面的なデータを、図表やグラフを多用してまとめている。医療、スポーツ、靴作りなどに携わる人に役立つ科学的な情報が満載である。多くの研究者の努力の成果が本書である。

また一方で、一般の人々でも健康に関心のある人にとって、読んで有益な記事も多い。

ボウリング場やスケート場の貸し靴をはいた

後にはどれだけ多くの菌が検出されるかを知ったら、帰宅したらまず靴下を脱いで足を洗いたいと思うだろう。

ハイヒールを履いた場合、歩行速度、歩幅、呼吸量、消費カロリーがどう変化するか。転倒危険性は、作業能力はどうか。大きな影響として外反母趾も気になるところだ。そういったことも実験・計測データに如実に現れている。

足の器用さのテストなど、友人と一緒に試してみたい。あなたは親指と人差し指で鉛筆を拾い上げられますか？



新着郷土資料紹介

ペンギンちゃんバリを飛ぶ 随筆小品集 額田昭子〔著〕 発行 2001 53\$

守護正義論 日奥聖人著 日蓮宗不受不施派研究所編、発行 2000 42\$

おかやまを語る 岡山町並みの残映 「おかやまを語る会」記録 第14集 岡山市立中央図書館「おかやまを語る会」編 岡山市立中央図書館発行 2001 65\$

吉備真備の世界 岡山文庫 中山薫著 日本文教出版発行 2001 157\$

倉敷美観地区福祉マップ2000 ようこそ倉敷へ 倉敷市立新田中学校製作、発行 2000 134\$

競争とやすらぎ 分権型社会の地域戦略 講演シリーズ 石井正弘講演 内外情勢調査会発行 2000 58\$

葛原【シゲル】 童謡詩人 佐々木竜三郎著、

〔発行〕 2000 100\$

歌を道づれに 岡山地名百選 小宮山輝監修 宮本邦男撮影 岡山地名研究会発行 2001 207\$

持宝院の宝物 特別展 笠岡市立竹喬美術館編、発行 2001 63\$

韓国研究報告書 熊山遺跡群のルーツを求めて 研究資料1 熊山遺跡群の調査・保存・顕彰を進める会〔編〕 発行 2001 62\$

目で見る岡山・玉野の100年 岡山市・玉野市・灘崎町 写真が語る激動のふるさと一世紀 太田健一、上原兼善監修 郷土出版社発行 2001 146\$

ECO WAVE おかやま 行ってみる。やってみる。人と自然にやさしいお店とくらしガイド エコウェブおかやま企画・編集 吉備人出版発行 2000 120\$

岡山県環境白書 平成12年版 岡山県生活環境部環境調整課編集、発行 2000 4,212\$

新着外国語図書紹介

食文化

Fast food nation : The dark side of the all-American meal
(by Eric Schlosser / Houghton Mifflin Company / 2001)

ファーストフードについて語れば、戦後のアメリカ史について語ることにもなる。

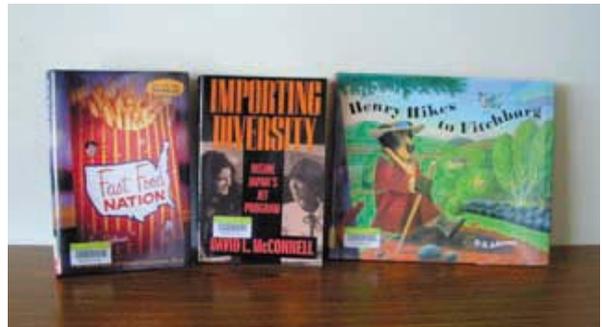
ファーストフード産業の隆盛が、社会の均等化、商店のモール化、貧富のへだたり、肥満、海外でのアメリカ文化の帝国主義化等を促進してきたのだ。

本書は、アメリカの食生活についての考えを変え得る画期的な作品であり、ファーストフード産業の発祥から、戦略、ファーストフードによるグローバリゼーション（国際化）にいたるまで、批判的に論じている。丹念に調査研究され、驚くほど説得力があるので、ニューヨークタイムズのベストセラーとなったのも不思議ではない。

国際教育

Importing diversity : Inside Japan's JET program
(by David L. McConnell / University of California Press / 2000)

「日本社会の国際化」への世界的な要請から、日本政府が1987年に発足させたのがJET(Japan Exchange and Teaching) プログラムである。今では、このプログラムは、年間予算4億円もの大事業にまで発展し、毎年6,000人以上の外国



人が日本各地の公立学校で雇用されている。

著者のマコーネル氏は、10年間におよび民俗誌的な研究をすすめて、JETプログラムの果たした役割、業績、問題点について語っている。JETプログラムの実態についての解説書は、類書がないので、本書は、JETプログラムの応募者、経験者だけでなく、教育者、政治評論家、日本人学生を興味深くひきつけることであろう。

熊の約束

Henry hikes to Fitchburg
(by D.B. Johnson / Houghton Mifflin Company / 2000)

ある夏の夕方、30マイル離れたフィッチバーグで会う約束をしたクマのヘンリーとその友人。ヘンリーは、森や野原を越え、自然を楽しみながら歩いて行こうとするが、友人はフィッチバーグへの電車賃を稼ぎ電車で行こうとする。先に、フィッチバーグへ着くのは、どちらなのか。2頭の全く違ったアプローチが、対照的に描かれている。数々の賞を受賞している挿絵の美しい作品である。

随想

笹無山の伝説

水島公民館 北村 精三



伝説は、人々の暮らしの中から生まれた歴史である。史実とは、かけ離れ脚色され変造されて語り継がれたものである。その時代の人々の生き様、感情がその中から伝わってくる。

「笹無山」の伝説は、懸命に生きていた若者が、源平藤戸合戦で功名を挙げた武将の卑劣な武功のために、愛し子を失った老母の嘆きの物語である。

源平争乱の時代、平氏は讃岐の屋島を本拠地とし、備前児島の藤戸に進出した。そのころは児島と備中の間は海で「藤戸の瀬戸」といわれ、「外海」の瀬戸内海に対して「内海」と呼ばれていた。

平氏の藤戸進出を知った源氏は、対岸の備中の丘陵に布陣した。

船を持たない源氏を見て、平氏は船を漕ぎ出してきて、扇をあげ「ここをわたせ、はようわたってこい」と挑発するのであった。源氏の将兵は、これを眺めて海を渡れぬもどかしさに無念の日を送るのみであった。

源氏の将、佐々木盛綱もその1人で苛立つ心を抑えながら、渡海の方策はないものかと浜辺に立って思案していた。ある夜盛綱は、平氏の陣近くに住むという若い漁師に出会った。「この瀬戸を馬で渡れる所はないか、教えてくれるなら望む物を与えるが」と尋ねた。「浅瀬があります。それを伝えれば馬でも渡れます」と若者は答えた。下心ある盛綱は、胸中興奮を覚えながら若者を促し、海中に入り浅瀬に目印の笹を立てさせながら案内をさせた。

自陣に取って返ると、この浅瀬のこと他の武将に教えられては先陣の功を失うと思い、無慈悲にも若者を密かに斬り捨て海中深くに沈めたのである。盛綱は恩人に非情さで報いたのである。

翌朝盛綱は、目印の笹を目当てに馬で藤戸の

海を一気に押し渡り、激戦の末、平氏を屋島へと敗走させた。先陣の高名を遂げた盛綱は、源頼朝に「昔より馬で渡河した者はいたが、海を馬で渡った例はない。希代まれなことである」と賞詞を賜ったのであった。

合戦が終わり藤戸の浦に静けさが戻ったが、若者は帰ってこなかった。老母は、戦を避けて遠くに逃れているのではないかと、わが子の身を案じ探し歩いていた。ある日老母は、浦人から盛綱によって殺されたということを知らされた。このことを知った老母は、恩を仇で返した仕打ちに、盛綱の馬にとりすがり「子どもを返せ」と叫び訴え出たのである。それ以後老母は放心状態となり、「佐々木と聞けば、笹まで憎い」とわめきながら、小山の笹を引き抜き、盛綱を呪ったという。

盛綱は、自分の武功のために人を犠牲にしたことを悔い、若者の霊を弔うため藤戸寺で供養し、向いの小島に供養塔を立て、経刀島と名付けた。

合戦は勝者がヒーローとなる。源平藤戸の戦いは、盛綱の勝者としての誉、反面若者の哀れさと老母の悲しみの物語である。

いつの世も子どもの幸せを願う親の心情が、人々の心に哀感を覚え、語り継がれてきたのであろう。

盛綱は晩年出家して「西念」と号し、若者の菩提供養に明け暮れていたという。



笹無山

*** イベント情報 ***

~ 第1回「世界お話の旅」フィリピン編 ~

外国の本にふれながら、国際理解を深めませんか？

絵本の読み聞かせや、歌とゲームを通して、フィリピンのことをもっと知りましょう。

・開催日時 / 平成13年7月28日(土)

14:00 ~ 15:30

・会場 / 岡山県総合文化センター第一会議室
(岡山市天神町)

- ・講師 / タヒミック・キャンディス・ジン
・ティモネラ氏(岡山大学留学生)
- ・内容 / フィリピンの絵本の読み聞かせ・歌とゲーム
- ・対象 / 幼稚園児・小学生とその保護者
- ・問合せ先 / 岡山県総合文化センター奉仕課
国際資料係 ☎086 224 - 1286
- ・その他 / 入場無料。事前申し込み不要。
ただし、駐車場には限りがありますので、公共の交通機関を利用してご来場ください。

ギャラリー

期間 (週)	第1展示室		第2展示室	
	大室	小室	大室	小室
7/31 8/5	第43回東中国自由美術展(巡回展) 絵画60点・立体5点 自由美術協会岡山支部 入場無料		第24回瀬戸内版画展 版画60点 瀬戸内版画会 入場無料	さわらび会 第8回 墨彩画展 墨彩画 さわらび会 入場無料
8/7 8/12	第13回水墨画萌苑会展 水墨画160点 水墨画 萌苑会 入場無料		第11回 画布(キャンパス)展 洋画120点 画布の会 入場無料	32'展 油絵15点・デザイン5点 水彩10点・CG10点 32展 実行委員会 入場無料
8/14 8/19	第32回玉龍会展 書50点・絵画10点 写真15点・陶5点 玉龍会 入場無料	第16回 蒼秋展 洋画30点 夢想庵グループ 入場無料	2001岡山県本部展 第57回 朝日写真展 写真250点 (全日本写真連盟岡山県本部) 入場無料	集樹展 油絵・パステル画50点 集樹 入場無料
8/21 8/26	第17回 梅操展 洋画・書・染色他87点 梅操会 入場無料			
9/5 9/9	第52回 岡山県美術展覧会(期 9/5(水)~9/9(日)、 期 9/12(水)~9/16(日)) 書2,700点			
9/12 9/16	(株)山陽新聞社 700円(期のみ500円)、学生300円(期のみ¥200)、老人無料			
9/18 9/23	ライオンズクラブ 合同美術展 油絵25点・日本画25点 工芸50点・書30点他 ライオンズクラブ 入場無料	写楽岡山写真展 写真40点 岡山ロータリークラブ写真同好会 入場無料	春陽会 瀬戸内作家展 油絵・版画50点 春陽会岡山 入場無料	第15回 竜墨書道会展 書60点 竜墨書道会 入場無料
9/25 9/30	第26回 岡山県教職員美術展 日本画30点・洋画120点・版画15点・彫刻5点・写真70点・書110点 (財)岡山県教職員互助組合 入場無料			

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
 会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員
 団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール(固定席282席)

日曜)	催物	時間	料金	主催者
8/1(水)	ホリプロスカウトキャラバン in 岡山	未定	無料	(株)北光プロモーション
8/4(土)	ピアノ発表会	13:30~16:30	無料	野ばらの会
8/5(日)	ピアノ発表会	14:00~16:30	無料	馬来みつ恵
8/10(金)	ギターの日	18:30~20:30	前:2,000円/当:2,500円	岡山県ギター愛奏会
8/11(土)	バンドネオンの響き・真夏の夜のタンゴ 京谷弘司タンゴトリオ	18:30~20:30	2,500円	岡山バンドネオン愛好会
8/12(日)	演劇公演「AKIRA」	13:00~14:00 15:00~16:00	無料	岡山商科大学演劇部
8/18(土)	第12回岡山県吟剣詩舞幼少年大会 第14回岡山県高等学校吟詠剣詩舞発表会	9:30~14:00	無料	岡山県吟剣詩舞道総連盟 岡山県高等学校芸術文化連盟
8/25(土)	第320回文化センター土曜劇場 「サンタクロースが歌ってくれた」 (岡山大学 演劇部)	14:00~16:00 18:00~20:00 13:00~15:00	前:400円/当:500円 (会員・岡山大学演劇部OB無料)	岡山県総合文化センター
8/26(日)				
8/29(水)	ピアノ発表会	9:30~11:30	無料	渡辺美津子
8/30(木)	第24回中国・四国地区社会教育研究大会 (岡山大会)	9:30~16:30	無料	岡山県社会教育委員 連絡協議会
9/1(土)	演劇公演「ジ アザー サイド the other side」	18:30~20:00 13:00~14:30	前:800円/当:1,000円	演技塾 ジャーム
9/2(日)				
9/3(月)	文化センターホール使用抽選会 (対象期間: H14.3月~5月)	9:00~	----	岡山県総合文化センター 総務課文化係
9/8(土)	第321回文化センター土曜劇場 「病の国のエリス」 (劇団 らくだのくるぶし)	18:30~19:30 14:30~15:30	前:1,000円/当:1,200円 (会員無料)	岡山県総合文化センター
9/9(日)				
9/15(土)	ピアノ発表会	13:00~17:00	無料	石井ピアノ会
9/16(日)	演劇公演「君のいる世界の真上」	17:00~	前:400円/当:500円	劇団ハンバーガーショップ
9/18(火)	演劇公演「君のいる世界の真上」	14:00~	前:400円/当:500円	劇団ハンバーガーショップ
9/22(土)	第322回文化センター土曜劇場 「14歳の国」(劇団 ひびき)	18:30~20:00 14:00~15:30	前:1,500円/当:1,800円 (会員無料)	岡山県総合文化センター
9/23(日)				
9/29(土)	ジョイントライブ	13:00~16:00	300円	岡山理科大学 軽音愛好会 マスカット 就実女子大学 フォークソング部 おもちゃ箱
9/30(日)	吉岡ギター教室発表会	13:00~15:30	無料	吉岡ギター教室

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。
 使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。
 抽選会は、6/1(12~2月)・9/3(3~5月)・12/3(6~8月)・3/1(9~11月)ですが、抽選済の期間で空きがあれば随時受付ています。
 使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。
 会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員
 上記の催し物は、6月末現在申し込み済みのものです。
 主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(<http://www.libnet.pref.okayama.jp>)